

(様式)

## パブリックコメント実施結果報告書

平成30年3月23日

担当課	博物館
担当者	美術館整備準備室 漆原、石原
連絡先	(0857) 26-8042

パブリックコメントのテーマ：鳥取県立美術館整備基本計画（中間まとめ素案）

### 1 手段別意見応募件数（意見件数を記入し、応募者数は（ ）書きをしてください。）

郵便	ファックス	電子メール	県民課・総合事務所等 (意見募集箱)	電子 アンケート	説明会等	その他	計
14件 (2人)	20件 (5人)	56件 (26人)	11件 (1人)	( )	( )	( )	101件 (34人)

### 2 応募意見の政策案等への反映状況

対応状況	件数	主な意見
反映した (一部反映を含む)	2	<ul style="list-style-type: none"><li>外国人観光客の集客には、県外との連携も重要。</li><li>県外、海外への広報発信の文言を加えてはどうか。</li></ul>
既に盛り込み済み	63	<ul style="list-style-type: none"><li>全体として盛り込みすぎのきらいはあるものの、「つくる」という未来志向のコンセプト、ラーニングセンターの位置づけ、サードプレイスの考え方、美術館サポーターの仕組みづくり等が評価できる。</li><li>ローカルを前面に出した企画運営を望む。</li><li>音声ガイドなど作品解説サービスが欲しい。</li><li>県外からの集客には、建物や周辺に特色が必要。</li><li>建物だけで集客できないので、平凡なコスト安のものにすべき。</li><li>収蔵庫不足を発端にした美術館整備であり、収蔵スペースをしっかりと確保すべき。</li><li>駅からバスの利便性向上を望む。十分な駐車場を確保してほしい。</li><li>サービス向上とコスト縮減が期待できる民間活力導入に賛成。</li><li>特定の人、文化団体に限定せず、広く県民から意見集約することが大切。</li><li>進捗状況が目に見えることが大切。 等</li></ul>
今後の検討課題	19	<ul style="list-style-type: none"><li>企画展は利用者目線で集客ができるよう、民間企業に任せてはどうか。</li><li>収集作品やコミッションワーク、展示内容の具体的名前を挙げての提案。</li><li>ラーニングセンター機能に大学生のインターン制度の文言を加えてはどうか。</li><li>コスト削減のためにPFIを導入し、平凡な美術館ができてしまうことは望まない。</li><li>小学生全員招待など、維持管理運営のための予算確保を望む。</li><li>集客実績のある館長や学芸員を外部から招聘してはどうか。等</li></ul>
対応できない	5	<ul style="list-style-type: none"><li>郷土作家の常設展中心でなく、企画展中心にしてほしい。</li><li>まんがは県立美術館でやらなくてよい。</li><li>平成36年度の開館時期を前倒ししてほしい。 等</li></ul>
その他上記に分類 できないもの	12	<ul style="list-style-type: none"><li>ありきたりで当たり障りのない印象。そつなくまとまっている。</li><li>国宝、重要文化財級の美術品の収蔵。</li><li>基本構想から、諸室の面積がなぜ縮小されたのか、説明してほしい。</li><li>都会のように混み合わずに、自分のペースで鑑賞できることは美術館の魅力。</li><li>募集しているテーマでない意見 等</li></ul>
計	101	

### 3 公表方法として該当するものに○を付してください。

とりネットでの公表 (担当課による)	報道機関への 提供	県議会への報 告	広報紙等への 掲載	関係団体等への 報告	その他
○		○			